



営農振興課
営農経済渉外係長
田中 裕子

*今月号は私が担当しました。

オヒシバ対策について

徐々に暖かくなり、農作物の栽培に適した季節になってきました。同時に、雑草も芽を出す季節になりました。

近年、グリホサート系の非選択性除草剤（ラウンドアップマックスロードやタッチダウンiQなどを散布しても「今までは枯れていたのに、何故か枯れない雑草があるな」「散布ムラがあったかな...」「濃度を薄く散布していたかな...」と感じている方は多いと思います。枯れない雑草は、除草剤に対して抵抗性をもっている可能性が高いです。残念ながら、除草剤の濃度を濃くしても、丁寧に散布をしても効果はありません。

グリホサート系除草剤で、これまで日本で抵抗性が報告されている雑草は、オヒシバ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギクなどです。JAふかや管内でも、これ

らの抵抗性をもった雑草が、しばしば見られるようになりました。特に、グリホサート抵抗性オヒシバは、近年増加していて、農業現場だけではなく、駐車場など非農耕地でも問題となっています。

【オヒシバの特徴】

オヒシバは、1年性のイネ科の雑草で、生育期が4〜10月と長いことに加え、増殖速度が速く、踏みつけに強いです。そのため、道端からほ場の中まで、様々な場所から発生がみられる強雑草です。

抵抗性オヒシバに対する効果的な除草剤の使い方

【バスタ液剤の散布】

現在、バスタ液剤（グルホシネート）では、オヒシバに対しての抵抗性は報告されていません。100倍〜200倍での使用をおすすめしています。

バスタ液剤は、接触型の茎葉処理剤です。付着した部分しか枯れないため、根までは枯れません。効果的に使用するためには、雑草全体にまんべんなく付着するように散布をしましょう。

【ワンサイドP乳剤の散布】

ワンサイドP乳剤は、イネ科専用除草剤で根まで枯れます。ゆっくり枯れていくため、完全

に枯れるまでに2〜3週間程度かかる場合があります。散布したのに枯れない！と感じる場合もあると思いますが、気長に待ちましょう。※広葉雑草は枯れません。

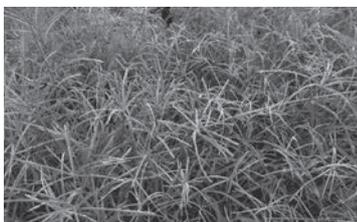
【ナブ乳剤の散布】

ナブ乳剤は、ワンサイドP乳剤同様、イネ科専用除草剤です。かけムラのないように、たつぷりと散布しましょう。

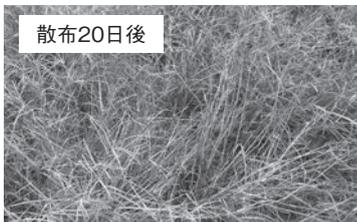
様々な作物に登録されているので、ネギほ場でも使用が可能です。使用する際は、作物ごとに使用方法が異なりますので、ラベルを確認しましょう。

広葉雑草と同時に枯らしたい場合は、タッチダウンiQとワンサイドP乳剤やナブ乳剤を組み合わせて使用しましょう。

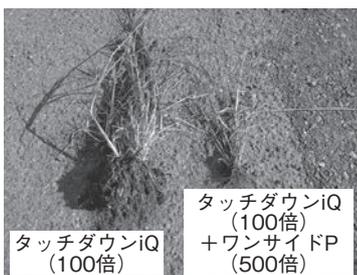
オヒシバ出穂後は、除草剤の効果が劣ります。早めに除草剤を使用し、上手にオヒシバ対策をしましょう！



写真① 散布前オヒシバ（非農耕地）



写真② タッチダウンiQ100倍+ワンサイドP乳剤500倍（非農耕地）



写真③ 根に及ぼす影響

写真提供：シンジェンタ ジャパン(株)

除草剤使用例

薬剤名	倍率	効果の速度
バスタ液剤	100倍〜200倍	早い 付着した部分を枯らす
タッチダウンiQ+ワンサイドP乳液	タッチダウンiQ 100倍 ワンサイドP乳液 250〜500倍	遅い 根まで枯らす
タッチダウンiQ+ナブ乳液	タッチダウンiQ 100倍 ナブ乳液 250〜500倍	遅い 根まで枯らす

除草剤を使用する際は、それぞれのラベルに記載された登録内容に基づき使用して下さい